

ごみとの付き合い方を考えよう

大量生産、大量消費の社会から生み出される大量のごみ。現代に生きる私たちにとって、ごみの扱い方や減量は、日常生活における大きなテーマです。

そこで、今月は、ごみステーション利用のルールや、家庭や地域で手軽にできるごみの減量やリサイクル活動についてご紹介します。



みんなが気持ち良く

生活するために
ごみステーションの利用

収集日の朝、決まった場所に出しておく、ごみ収集車が、ごみを持っていってくれる「ごみステーション」。

しかし、ごみステーションは、あくまで、ごみが出されるから収集されるまでの間、道路を借りている「一時的な置き場」です。前日排出など、マナーに反したごみ出しは、地域の環境美化に反しますし、カラスを呼び寄せる原因にもなります。

みんなが気持ちよく過ごす

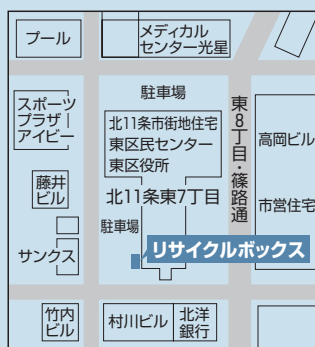
☆ ごみステーション 利用マナー

- 1 決められた曜日を守り、当日の午前8時30分までに出す
- 2 燃やせるごみ、燃やせないごみ、瓶・缶・ペットボトル、プラスチックにきちんと分別し、中身の見える袋に入れて出す
- 3 ごみがこぼれないように、しっかり梱包する
- 4 台所ごみは、しっかり水切りする
- 5 ガラスの破片や割れた瓶などは厚紙で包み、「キケン」と表示する
- 6 紙おむつなどは、排せつ物を取り除いてから出す
- 7 たばこの吸い殻などは、必ず完全に火が消えたことを確認してから出す
- 8 スプレー缶は、中身を使い切った後、穴を開けて、中身の見える別の袋に入れて出す



地域の環境美化への思いが形になりました（北42東4）

中には、ごみステーションを使う人全員がマナーを守ることが、重要なポイントのひとつ。栄西地区の栄東5丁目北町内会では、ごみステーションをきれいに使うという意識の向上に向けて、注意を喚起するのほりを立てたり、花を飾ったりしています。



- 設置場所
東区役所（北11条東7丁目）
駐車場南西角地内（左図参照）
- 利用時間帯
月～金曜日（祝日を除く）の
午前8時45分～午後5時15分
- 受け入れ品目
新聞、雑誌、ダンボール

**東区役所に古紙回収の
リサイクルボックス登場**

古紙は、地域の資源回収などによるリサイクルが定着してきましたが、回収日までの保管が大変であるために、ごみステーションに出されることがあるのも現状です。そのため市では、7月7日（水）から、左記のとおり区役所の駐車場内に、常設の古紙回収箱を設置しました。ぜひご利用ください。